

【南禪寺文書】 山城

四〇一

遠江國初倉庄、播磨國矢野別名、同國大鹽、但馬國池寺庄、加賀國得橋郷得南・益延・長恒・府南社神主職、同國笠間東保、備中國三成郷、當寺門前敷地以下。

右所々當知行不可有相違者。天氣如斯、仍執達如件。

正平七年二月十七日

(御寮光致)
右衛門權佐 在判

南禪寺長老蒙山上人方丈

閏二月十八日。足利義詮、吉見氏頼に、能登の地頭御家人の味方に黨する者に安堵の下文を與ふべきことを告ぐ。

【得田文書】

四〇二

能登國地頭御家人、參御方致忠節輩等所領事、早就註進狀可被下安堵御下文之狀如件。

正平七年閏二月十八日

(足利義詮)
在判

吉見三河守殿

閏二月廿四日。石川郡白山宮莊嚴講勸進、明日を以て中觀坊に講衆を招集す。

【白山宮莊嚴講中記録紙背文書】

四〇三

明日午刻 於中觀坊

可有御集來矣

白山寺 莊嚴講所

源運 大德忌中 承澄 大德里中下向

尊仁 大德奉 幸淳 大德奉

祐運 大德奉 貞成 大德所勞

貞勝 大德里中下向正成 大德奉

禪永 大德奉

右依恒例所唱如件。

正平七年閏二月廿四日

勸進 一 運

(白山宮莊嚴講中記録紙背文書四十六紙中宮方の年號を用ひたるはこの一紙あるのみ)

三月六日。足利義詮近江に在りて、能登の士得田素章に從軍を促す。

【得田文書】

四〇四

宮方被合駱寄來之間、洛中依無勢打越江州畢。仍近日

可責上京都也。相備一族等急馳參、可致忠節之狀如件。

觀應三年三月六日

(足利義詮)
在判

得田次郎左衛門入道殿

三月十一日。珠洲郡高座宮別當高勝寺院主快善、同寺領正院郷内本經田目錄を注す。

【須須神社文書】

四〇五

合正院郷内貳町四段

七段 正院 壹町壹段 藏見内

此内一段毛須大坊 壹段貳西坊 壹段角坊 八小

泊惣太郎名 五段幸阿彌陀佛弁分 壹段道誓 壹

段道壹名

伏見村内 壹段神主名 貳段善阿彌 貳段名主申

壹段毛須南坊

右正院郷内本經田目錄如斯。

文和元年三月十一日

高座山院主 快善 在判

三月廿四日。石川郡白山宮莊嚴講勸進、明日を以て勝重坊に講衆を招集す。

【白山宮莊嚴講中記録紙背文書】

四〇六

明日午刻於勝重坊

可有御集來矣

白山寺 莊嚴講所

源運 大德奉 承澄 大德奉

尊仁 大德奉 幸淳 大德奉

祐運 大德奉 貞成 大德所勞

貞勝 大德里中 正成 大德奉

禪永 大德奉

右依恒例所唱如件。

觀應三年三月廿四日

勸進 連 海

四月十日。足利義詮、山城男山八幡を攻めんとし、能登の士得江石王丸の從軍を促す。

【得江文書】

四〇七

既所發向八幡也。早馳參可致忠節之狀如件。